

つがる市地域包括ケアシステム

団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援**が一体的に提供されるように地域包括ケアシステムの構築が求められています。つがる市では、平成27年度に準備会を立ち上げ、「生活支援・住まい・介護予防」、「医療・介護連携」、「認知症対策」の3チームに分かれて検討を進めています。



国が示した事業

生活支援・住まい・介護予防：介護予防・新総合事業、独自のサービス、ボランティアの育成など

在宅医療・介護連携：ア 地域の医療・介護の資源の把握 イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 エ 医療・介護関係者の情報共有の支援 オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援 カ 医療・介護関係者の研修 キ 地域住民への普及啓発 ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

認知症対策：認知症ケアパス、認知症初期集中支援推進事業、認知症地域支援・ケア向上事業

つがる市の高齢者状況

～高齢者人口の推移と2025年の将来像～

(単位)	2025年		
	平成17年 (合併当時)	平成27年	平成37年 (推計値)
総人口(人)	40,091	34,616	29,565
高齢者人口(人)	11,038	11,686	11,630
総人口に占める高齢者割合(%)	28	34	39
後期高齢者人口(人)再計	5,322	6,711	6,834
総世帯数(世帯)	11,470	11,330	-
高齢者単居世帯数(世帯)：再計	1,004	1,340	-
要介護認定者(人)	1,918	2,334	-
認知症高齢者(自立度Ⅱ以上)(人)再計	1,059	1,528	-

※つがる市介護課調べ(推計値は人口動態研究所データ、今後変動があります)

総人口は**減少**するが・・・
後期高齢者人口は**増加**し、高齢化率も**上がる**

つがる市の地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み

平成27年 つがる市地域包括ケアシステム準備会を発足

参画者：つがる市地域包括支援センター
つがる市社会福祉協議会
つがる市福祉部介護課

7回の会議を開催し、つがる市が目指す
地域づくり、取り組みの方針を検討

準備会後に分科会を結成

～重点項目ごとの取り組み～



重点項目ごとにチーム編成し、それぞれのチームで
課題の発掘や政策形成に向けた取り組みを検討